

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育で生きる力を育むシエル長沼教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムについての評価	毎日実施している活動の中でも利用児童特性に合わせた活動プログラムを日々調整し、飽きずに取り組める活動を実施	法人内他事業所との連携研修を実施し、知見を広める
2	保護者連携、強固な伝達フロー	送迎、個別面談時など、各場面にて児童の様子伺いや当日の療育の様子などを口頭にて必ず伝達 また写真を用いて児童の活動状況を連絡帳にて伝達	SNS等の活用で事業所全体での情報展開を行う
3	家庭で経験のできない事を体験する	学校休校日に外出や何らかのイベント企画を盛り込む事で日常との差異を設ける 家庭の人数では利用が難しい施設なども事業所として利用している	季節イベントの充実 他事業所と協力した大型イベントの実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の実施	プライバシー等への配慮があるため容易な実施はできない	利用者側が望まない結果なので公的な開催はしない方向としつつも、情報共有に関してはサービス提供側として仲介する必要がある
2	職員配置、情報の周知	利用者意見として「どんな職員がいるか」の情報が欲しい	職員紹介のお手紙の用意、配布を行う また更新があった際に随時最新へ対応を行う
3	利用者への情報共有時の伝達方法について	口頭での伝達時に「利用状況や療育と関係のない話をされると困る」との意見を頂戴した。	従業員への周知徹底、及び非正規雇用職員まで含めた保護者とのコミュニケーションに関わる研修の実施